



秋もはや はらつく雨に 月の形 (芭蕉)

2015.10
No.129

松川町議会です

シリーズ 『えがお』

特集 薄まる住民の関心～

2ページ

今、議会に求められるもの

追跡!あの質問はどうなった?

12ページ

9議員が町政を問う!一般質問

15ページ

中央小運動会でよさこいソーランを舞う2年生。目標を共有し自分の役割にベストを尽くす姿に、教えられることが多い。

ひも



問われる地方議会の役割

議会への支持がこれ程低い原因は何でしょうか。「地方議会のどこに問題があると思うか」という問いに次のような回答が寄せられています。

ない (50・7%)

○住民に開かれた議会
となっておらず、住

民の監視機能が働かない
(33・6%)

れており、議会の新陳代謝がない(30.3%)
言論NPOは全国的な組織であり、そのアンケート結果は当議会

を直接指しているわけではありませんが、わが町でも看過できない多くの問題をはらんで

議会は 住民構造の

縮図

議会は住民の代表であるゆえ、住民のあらゆる階層からまんべんなく選出され、住民の縮図となることが理想です。しかしながら当議会の構成は、年代や性別については「縮図」に近いとは言い難い状況です。

「高い議員報酬」はホント？

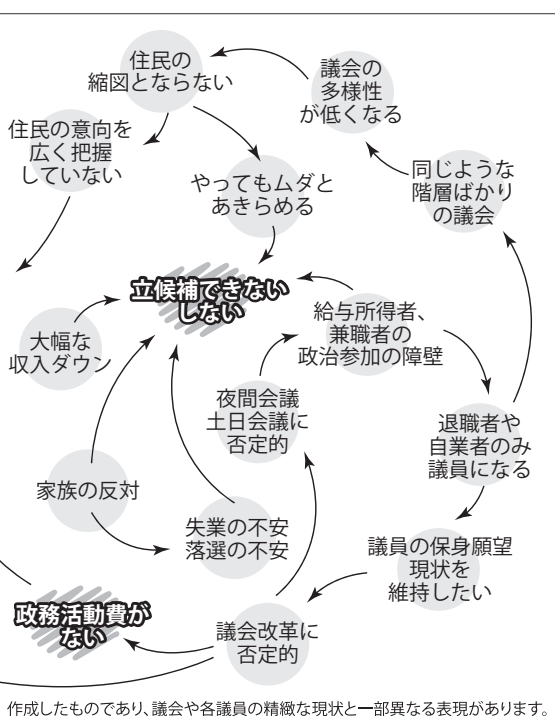
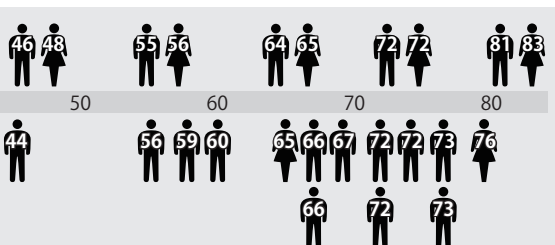
昨今マスコミで話題となった議員報酬は、月額で飯田市40万7千円、伊那市36万円、駒ヶ根市31万1千円です。市町村のうち「市」は比較的高額なのに対し

会の出席手当や費用弁償といった類は全廃、平成23年には議員年金も廃止、議員報酬以外の収入は一切なくなり、引退後の年金もありません。

「町村」はかなり低い水準で、松川町は月額19万円です。世帯の状況にもよりますが4人家族の場合、税金や社会保険などの控除後（手取り）は12万円ほどです。

平成13年頃に地方交付税大幅減額の影響で、各種委員会や協議

20代サラリーマンの平均手取りは月23万円*ですから、議員の月12万円という額はおよそ半分です。世帯を支えるには程遠いのが現実で、何かしらの兼業や副収入が必要です。「議員のなり手がいない」原因の一つと言えるでしょう。





近いうち で遠い

議会

求められる資質と能力

地方議会にはどのような役割や能力が求められるか、改善すべき点は何か、アンケートでは次のような回答が寄せられています。

○政策能力の向上

(69・1%)

○兼職を可能とし、勤労者が議員になれるような制度づくり

(66・4%)

○休日・夜間の議会の開催、通年議会の採用など、住民参加の機会の増加(52・0%)
○政務活動費の使途や議員報酬などの情報公開の推進(51・3%)

○インターネットやテレビ中継など、住民に開かれた議会の開催

(46・1%)

地域の課題に答えを出していくには、議員の政策能力を向上させることが必要だと多くが回答しています。また、より多様な人材が議会に参加できる仕組みを構築して、さまざまな視点から政策を吟味できる体制を整えることが重要だと認識していることがわかります。

情報公開が契機となる

私たちの大事な主権である一票を投じて、町政の一翼を担う議員を選ぶのなら、能力があり資質の高い候補者に投票したいと誰もが思うでしょう。しかし、それを有権者が知るに

町内有権者の年齢・性別・人口バランスから算出した理想の議員構成



20



30

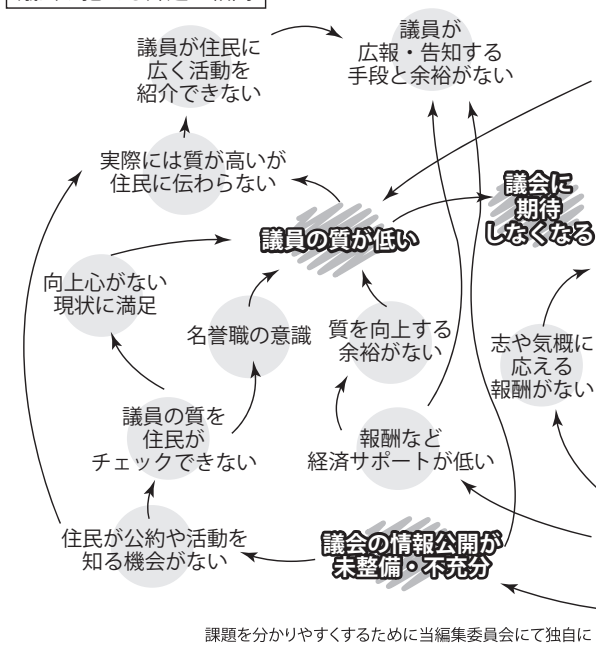


40

9/1 現在の松川町議会の議員構成

は、あまりにも情報が少ないのが現状です。CATVや議事録で公開されているのは議場で行われる「本会議」のみで、実質的な審議が行われる「全員協議会」や「常任委員会」などの様子を知るには傍聴するか、要約した議事録を請求する以外にありません。議員の能力や資質の住民チェックが困難だと、投票の際には候補者の出身地区や人柄など「能力と資質」以外で判断せざるを得ない、場合によっては投票に行か

複雑に絡み合う、議会が抱える課題の相関



議員自らが資質向上に励む

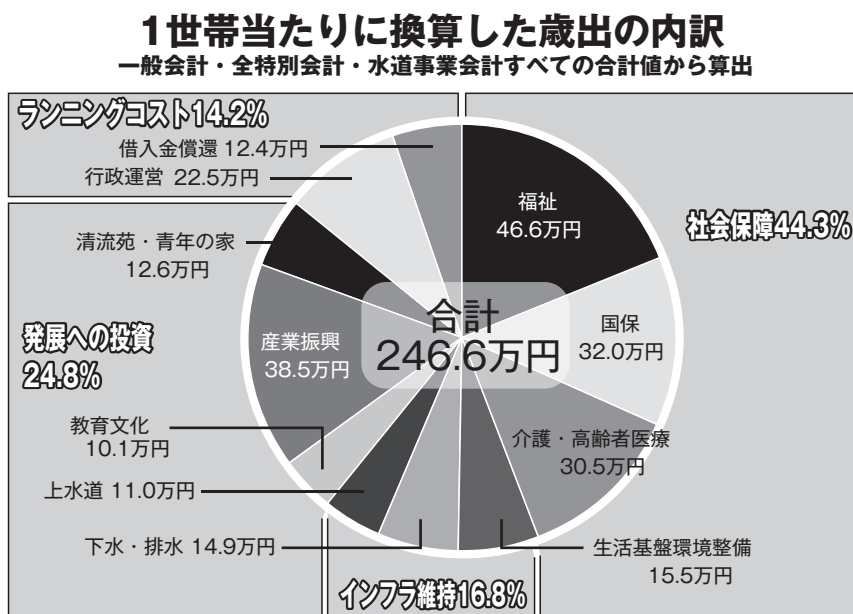
ない、といった事態に繋がります。結果的に当選した議員の「能力と資質」はますます低下する、という悪循環に陥ります。

情報公開により住民の能力と資質を評価する機会も増えます。このように議会により多くの情報を開示し、より厳しい住民の選択を経て、より自己の能力と資質を高めるよう緊張感を持ち、より高いレベルで住民の負託にこたえる住民のため、ではいけないでしょうか。

決算

住民サービスと使われたか 町の資産形成に

平成26年度決算は、一般会計の支出済額63億7649万円、特別会計や水道事業を合わせると108億132万円となりました。一般会計では実質収支が4.7億円、不用額が3.8億円と使い残した多額の予算があり、計画との乖離が目立ちました。



高齢化社会の影響を受け社会保障の割合が依然として高い

人口増対策目標未達？

質問 出生祝金が予算278万円に対し執行額が下回っている。人口減少の検証は。また第1子から第4子と段階的に祝金に差があるのは疑問。

答弁 新生児数が目標よりも少なく、今後の人口増対策を練り直す。祝金の段階的な金額も見直しを検討する。

水道の将来は

質問 水道の未収金が677万円と前年と比べ悪化している。また全体の使用量が減少しつつあるなか、料金の

値上げなどの検討は。

答弁 事務処理のミスで前年度分が一部合算された。純粋には約470万円の未収である。現在全町的な水道設備の点検を行っており料金改定を含めた長期計画を策定する予定。

清流苑の収益改善を

質問 清流苑の赤字累積が1億円を超えた。収益悪化の要因分析と今後のテコ入れは。

答弁 原油の高騰による燃料費の増加や、人件費が一定の比率で上昇している。今後は屋内スポーツ施設利用の推進、見直しなどを検討し収益改善を図る。今年度幸いに堅調な売上を維持している。

高齢者に栄養指導を

質問 高齢者医療抑制のためには健康増進の一環として適切な栄養指導が重要だ。取り組

みの状況は。

答弁 健診の数値結果によって個別に保健師と栄養士による指導を行っている。各地区への出張学習会や、企業での健康学習も推進している。

自主防災備品に基準は

質問 町内30の自主防災組織への備品購入補助として469万円余を支出しているが、各組織でそろえる備品にバラつきがある。行政が必要備品の基準を示すべきでは。

答弁 自主防災に対する意識が各地区で温度差がある。研修などで指針を示しているが各組織の財政状況が異なるので自主性を尊重したい。

多めに見積もり

少なく使う？

質問 予算額から決算額を引くと、3億8千万円もの余りが出た。



一般会計歳出は2.7億円の増加。歳入は自主財源比率が0.7ポイント減少している。

一般会計から特別会計・水道事業会計への繰出金は8.2億円で農業集落排水事業会計への繰出が37%と大きな比重を占めている。依然として多額の未

収金があり債権確保に一層の努力が必要。滞納は税負担の公平性の面から課題が多く、各課が情報を共有し積極的に活用して徴収に努めていただきたい。

財政力指数のうち、経常収支比率は悪化。財政構造の硬直化が懸念され一層健全な行財政運営に努められたい。実質公債費比率は繰上償還等により改善している。

町債発行（借金）額



見積もり精度が甘いのでは。また、余らせずに国保など財政が厳しい事業に振り向けるべきでは。

答弁 各事業での節約や見直しの積み重ねで多額の余りが出た。将来の大きな事業に備えて、貯金（基金）の積み増しや借金（町債）の返済に充てる。

効果あり！

ゴミ監視カメラ

質問 ゴミの不法投棄監視カメラを設置し、10人の環境調査員も置いたがその効果は。

答弁 不法投棄がなくなり抑止効果が出ている。調査員と協議しながら効果が期待できる

場所への設置を検討したい。レジ袋の投棄も目立ってきており、商店やコンビニとも協議を進めている。

道のり厳しい

日赤分娩再開

質問 赤十字病院へ運営費補助として1億円余の支出がある。住民の要望が多い分娩再開の見通しは。

答弁 産科医師の確保は単独では困難であり、再開のハードルは高い。分娩はリスクが高い場合があり、飯田市立病院の周産期母子医療センターに集約していく方向ではあるが、今後

も粘り強く交渉する。

待ったなし！

認知症予防

質問 高齢者世帯・独居老人世帯が増えている。介護施設の状況や認知症の対策は。

答弁 認知症サポートターの養成、初期認知症の集中支援チーム事業、対象者への訪問と集中支援、包括支援センターで世帯アンケート調査を実施、200人を超えるコミカフェ事業など、多面的に認知症予防・重症化予防に努めている。

住民への

公開義務を徹底

質問 法令によれば町の財政状況を5月と11月の年2回、住民に公表しなければならないが実施状況と議会への報告は。

答弁 先の5月に住民公表ができていない。今後実施漏れがないように注意する。議会への報告も今後検討する。

※端数処理のため合計値は一致しない場合があります

	26年度予算	最終補正予算	決算	当初予算に対する決算の増減比	最終補正予算に対する決算の増減比
一般会計	61億8000万円	65億3318万円	63億7649万円	3.2%	-2.4%
国民健康保険事業特別会計	13億9841万円	14億4992万円	14億155万円	0.2%	-3.3%
後期高齢者医療特別会計	1億3774万円	1億3826万円	1億3739万円	-0.3%	-0.6%
介護保険事業特別会計	12億4162万円	12億4113万円	12億27万円	-3.3%	-3.3%
公共下水道事業特別会計	2億8477万円	2億9322万円	2億7812万円	-2.3%	-5.1%
農業集落排水事業特別会計	3億7899万円	3億9031万円	3億7853万円	-0.1%	-3.0%
保養宿泊施設事業特別会計	5億3363万円	5億3913万円	5億1465万円	-3.6%	-4.5%
青年の家特別会計	3381万円	3842万円	3552万円	5.1%	-7.5%
水道事業会計	5億261万円	4億9264万円	4億8313万円	-3.9%	-1.9%
合計	106億9158万円	111億1620万円	108億565万円	1.1%	-2.8%

数回にわたる補正にもかかわらず、すべての決算額が下回り、見積もりの精度が問われる↑

は6・8億円で前年比1・3億円の増加。元利償還（返済）額は5・4億円で前年比1・6億円の減少、この結果町債の期末残高は43・2億円、前年比1・8億円の増加である。

26年度は名子統合保育園建設、北部火葬場建設、フォレストアドベンチャー建設、神護原線道路、小中学校耐震改修など大型事業が集中した。今後も中央公民館改築など公共施設の老朽化に伴う大規模補修事業を控え、厳しい財政運営を強いられると思われる。将来展望に立った財政計画の立案と計画に基づき効率的かつ重点的な財政運営を行い、住民生活環境の整備や住民福祉のため更なる尽力を望む。

代表監査委員 佐々木光男
議会選出監査委員 米山 由子

町の姿勢が見えてくる

条例・補正 予算審議

僅かながら

景気回復の兆し？

質問 近年横ばい傾向の清流苑売上を、今期500万円増収と見込む根拠は。

答弁 今期は前年比1・1ポイント上昇、堅調に推移しているため増収を見込んでいる。区別すべき！

教育と人口増政策

質問 中学生対象のチャレンジショップ(起業体験)の目的の一つに将来の帰郷(Uターン)をあげる理由は。

答弁 体験を通して地域の魅力再発見、再創造を期待するもので、地域のために自分の力を発揮する自信をつけるのが目的。「Uターン」は交付金対象とするための表現に過ぎない。

あまり使われない

施設を見極める

質問 地域活動支援センター1屋根、生東リズム室漏水それぞれの補修費が少額の理由は。

答弁 現在「公共施設総合管理計画」(白書)を策定しており、利用が少ない施設の将来性を吟味している。計画の方向性が確定するまでは応急的な補修で対応することも多くなる。

定時制高校を
応援します

質問 赤穂高校定時制振興への分担金が初め



中学生チャレンジショップ
彼らの人生は彼らのもの

て計上された。これまでの経緯と対応は。

答弁 定時制高校は地域の教育の一翼を担う重要な役割がある。過去10年で当町民生徒21人の実績がある。近隣町村も負担しており、当町も今年度から参加する。

危機感が足りない？

個人情報の管理は

質問 国のマイナンバー制度を受け、当町の個人情報保護条例が大幅に改定されるも、抜け穴が多い。規則や要綱、内規も未整備だ。

答弁 国の基準に従って改定しており保護要請を満たしていると考え。規則などは12月までに整備し上程したい。

反対討論

国の指針に盲目的な姿勢が問題だ。性善説の改定案で危機管理の精緻さに欠ける。情報漏えい時の緊急対策や初動体制の構築も未整備で住民の安心を守るには不十分だ。

(加賀田亮議員)

委員長職がなくなる

教育委員会

質問 条例改正により教育委員会の組織が変わり、非常勤の「委員長」職を廃し、常勤の「教育長」が委員会を代表することになるがその実施時期は。

答弁 現教育長の任期中は実施されず、次の任期である平成28年10月から新しい制度となる。

	27年度 当初予算	6月補正後	7月補正後	9月補正後	当初予算に対する増減額	当初予算に対する増減比
一般会計	59億1200万円	60億399万円	60億449万円	64億2280万円	5億1080万円	8.6%
国民健康保険事業特別会計	16億516万円	16億548万円	16億548万円	16億1245万円	729万円	0.5%
後期高齢者医療特別会計	1億3918万円	1億3918万円	1億3918万円	1億3946万円	28万円	0.2%
介護保険事業特別会計	12億8310万円	12億8652万円	12億8652万円	13億2964万円	4654万円	3.6%
公共下水道事業特別会計	2億9219万円	2億9219万円	2億9219万円	2億9538万円	319万円	1.1%
発電事業特別会計	---	6220万円	6220万円	6220万円	---	0.0%
農業集落排水事業特別会計	3億8540万円	3億8540万円	3億8540万円	3億9005万円	465万円	1.2%
保養宿泊施設事業特別会計	5億2870万円	5億2870万円	5億2870万円	5億2828万円	△42万円	-0.1%
青年の家特別会計	3379万円	3379万円	3379万円	3671万円	292万円	8.6%
水道事業会計	5億3343万円	5億3343万円	5億3343万円	5億3903万円	560万円	1.0%
合計	107億1295万円	108億7088万円	108億7138万円	113億5600万円	6億4305万円	6.0%

6%にもものぼる補正増額で110億円の大台を超える。

決不注安撤回案安保法

「集団的自衛権行使に関する法案、いわゆる安全保障法案の撤回と廃案を求める意見書提出の請願」は賛成6・反対7で不採択となり、続く「同意見書の提出について」の議員発議も、賛成6・反対7で否決となりました。

請願賛成討論

世論調査などの民意を現政権は反映していない。正式な改憲手続きを執らないのも疑問だ。満蒙開拓引き揚げ者の体験談を直接聞き育った経験から、平和こそ最大の福祉であると確信する。

（熊谷宗明議員）

歴史を総括し学ぶことを避けている。圧倒的な反対世論と多くの

有識者による違憲判断を軽視、法案成立後に理解を得ればよい、という愚民思想は立憲主義の否定につながる。

（加賀田亮議員）

正式な憲法改正の手順を取らず、閣議決定での憲法解釈が問題の発端。党利党略が先行し民意をくまない。長年の平和事業で得た信頼を失いかねず、シビリアンコントロールも

危うい。

（森谷岩夫議員）

元最高裁判事の違憲判断と世論の6割の反対に対し、与党が数の力で強行している。他国での軍事力行使は、平和活動により得た国際評価を根底から覆す。

（松井悦子議員）

戦力行使を禁じた憲法9条が中国や韓国の

請願反対討論

脅威を助長している。悪意を持った相手への平和憲法は机上の空論であり、国民の生命財産を保護する現実的な選択をすべき。

（坂本勇治議員）

憲法制定時の70年前に比べ近隣の国際情勢は激変している。国際社会では同盟国の二一ズに合わせた変化が必要。制約の多い集団的自衛権なので即時交戦の恐れは少ない。

（橋本喜治議員）

発議賛成討論

武力で平和を実現する「積極的平和」は疑問。長年積み上げてきた議論を反故にする今回の法案は議会制民主主義をないがしろにするものだ。

（白川靖浩議員）

8/21 請願受付
議会運営委員会にて受理審議

9/4 本会議
請願審査を
常任委員会に付託決定

9/8 総務産業建設常任委員会
請願審査
賛成 4 松井悦子議員
黒澤哲郎議員
森谷岩夫議員
菅沼一弘議員
反対 2 間瀬重男議員
橋本喜治議員
よって委員会で採択

9/8 同常任委員会
議員発議提出を決定
提出者 松井悦子議員
賛成者 黒澤哲郎議員
森谷岩夫議員
菅沼一弘議員

9/17 本会議
請願審査
常任委員長の報告
委員会では採択された旨報告
討論 討論内容は本ページ参照
採決 賛成 6・反対 7
よって不採択

9/17 本会議
意見書提出の議員発議を審議
意見書賛成者が削除を要請
菅沼一弘議員
討論 討論内容は本ページ参照
採決 賛成 6・反対 7
よって否決

9/30 議員協議会
委員会運営ルールを確認
議員の責任と自覚を確認

※議決結果の詳細は13ページを参照

だより

社会文教 常任委員会

9月10日(木)に社会文教常任委員会を開催し、各委員会ごとに現地調査を実施しました。
を分担し、能率的に処理するために設置された機関です。

答弁

質問・意見

① 1年間の償還金が200万円程度であり、実質的に500万円程度一般会計から繰り入れていかないと賄っていけない。判定基準については、学習意欲を尊重するなかで総合的に考えていく。

② 昨年は商店主の方々から商売の厳しさを指導していただいた。本年は、起業家精神を養うアントレプレナー教育の県の指定を受けているのでその講師を呼ぶ予定で動いている。

③ 当初予算では12人を見越していたが、現在は30人程度となり、今後も増えつつある。今後はアンケートを取って要望を取り入れていく。

④ 支援金の割り当ては、全県同じ計算式で行っている。そのなかで当町は検診率が高いということで約9万円優遇されている。

⑤ 送迎については、コミュニティバスの時間帯に合わせて行っている。また、運動器具の設置はスペース的に厳しいので、コミュニティカフェの器具の利用を進めている。

① 奨学金の財源はどうなっているのか、また制度を見直す場合の判断基準は。

② チャレンジショップの30万円の補正が計上されている。
生徒たちが進みたい道、それと世間のギャップに苦しまないよう地に足の着いた取り組みを望むが。

③ 健やかマイレージ利用者増で5万円報償費の内容は。
高齢になると維持は難しくなるので、成果の上がりそうな項目を重点に推し進めてはどうか。

④ 国民保険会計での後期高齢者支援金が総額で2億円の大台に乗ってきた。国保連とはどのような交渉を行っているのか。

⑤ 温水プール健康教室の夜の部が開設された。送迎の考えはないか。また、健康維持の運動器具を備えて利用者を増やすことはどうか。

調査・研究

日赤病院に委託した認知症支援相談室の活動、中央公民館改築工事、中央小学校西側教員住宅解体の状況の確認。7月14日、15日には、東京都杉並区役所にてCCRC（元気な高齢者の田舎移住）とコミュニティスクールについて先進的な取り組みを聞いた。



網野院長を先頭に奮闘する認知症支援チーム

総務産業建設 常任委員会

委員会

9月8日(火)に総務産業建設常任委員会、
し、付託された案件の審議と議員間討議を行
※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に審査

質問・意見

答弁

①ふるさと応援寄付金2,600万円増額について、近隣自治体に比べ少ないのではないかと。また、扱い商品の工夫が必要ではないかと。

②新たな役場駐車場の賃借契約が提案されたがその内容は。

③防犯費のLED防犯灯の修繕で50基分200万円についての他、既に業者により無償で交換された部分がある。見積もりの一基4万円は高いのではないかと。

④災害に対する備蓄米300kgの根拠と、その保管は。

⑤繰越により1億6,000万円弱の増額となった予備費を、先送りされている住民向け政策に回すことはできないかと。

①事業の進め方、取り扱いを農産物以外への検討、単価などもよく精査をして進めていきたい。

②役場前旧みよしや跡地を駐車場として賃借して利用する。現有駐車場との段差へブロック積みをして、極力経費をかけないで現状のまま使用をする。

③初期設置のものは耐雷サージ特性不足で、交換を進めているが補償に上げられなかった部分で、予算については工事費も含まれ危険な場所などもあり、全部統一価格とはいかない。

④当町は農業地帯でもあり、避難日数と救援物資の補てん日数を考え、アルファ米備蓄もあるので2,000食相当分を清流苑の冷蔵保管施設へ保管する。

⑤住民生活のなかで、回せるものであるならば、職員提案に基づき使っていきたいというのが基本的な考え方である。

- 「集団的自衛権行使に関する法律、いわゆる安全保障法案の撤回と廃案を求める意見書提出の請願」を審査し委員会で採択としました。
- 「集団的自衛権行使に関わる安全保障法案の撤回と廃案を求める意見書」の提出を委員会で決定しました。



将来の松川はどんな果実を作るべきか

調査・研究

現地視察は8月の降雹被害の現地調査、町道大草線橋梁架け替え状況視察。7月22日つくば市の農研機構・花き研究所、同・果樹研究所、他の視察。23日は東京大田市場を見学、JA全農長野と、東一・東京青果㈱より今後の可能性の研修により知見を広めました。

議会の うごき

提案に向けて議論

松川青年の家あと利用

28年度で閉鎖

松川青年の家は県の施設を町が指定管理を受ける形で運営してきました。県は社会教育施設としての役割を終えたということで、平成28年度いっぱいをもって指定管理を終了

し閉鎖とすることが決定しています。閉鎖後の施設は解体もしくは譲渡となります。敷地・施設を含め閉鎖後はどのような取り扱いをするのがベストか、難しい判断が迫られています。町側からは清流苑・フォレストアドベンチャー！



どう活用し交流人口増に繋げるか、議論は白熱

- 西山一帯をゾーニングして整備し、交流人口増に結びつけたいと考えるなか、選択肢の一つとしてラグビー・サッカー場を整備する案が示されました。その後、議会の意見を受け入れ、行政は検討委員会を設置することになりました。現在議会としてさまざまな視点であと利用を検討しています。
- あと利用の選択肢案**
- 取り壊し、リニアを見据えて検討
- セミナーハウスとして活用
- 町民のための福利厚生施設に
- 国際交流の拠点としてゲストハウス
- 登山やトレッキング、自然体験を含めたアウトドアの学習拠点などの意見が出ました。

これまでの経過

平成23年12月に成立した松川町議会基本条例において、議員は「自己の資質を高める

不断の研鑽と町民全体の奉仕者としてふさわしい活動をする事

また「政策の立案及び提言、研修・調査研究等を積極的におこなうこと」が定められました。そのため今期の議会改革推進会議ではいくつかの課題の中から、



全てを公開することで、住民の厳しいチェックを受ける

議員の資質を高めることを中心に議論を重ねてきました。そして活動を保障するための政務活動費の研究に発展しました。

なぜ法制化が必要か

地方分権が言われま

すが、地方議会の活性化を図るためには、その審議能力を強化していくことが必要不可欠であることから、地方議員の調査活動基盤の充実を図ることが必要

です。そのため議員に対する調査研究費などの助成を制度化し、併せて情報公開を促進する観点から、その使途の透明性を確保します。今後町民各位への説明と理解をいただくなかで条例化を目指していきますが大まかな内容としては次のとおりです。

- ①政務活動費は議員ひとり年額12万円とする。
- ②使用目的は、調査研究・研修・広報・聴取・資料購入・情報通信等議員活動に資するものの。
- ③使途公開、報告書を通じて議員活動を住民がチェックできる。議員報酬とは区別する。
- ④活動が不十分で残額が出た場合には返金する。

議会の うごき

議員の質を高めよ

政務活動費の研究

議会の うぶぎ

さまざまな課題を住民目線で

この秋「議会と語る会」

皆さんの意見は？

たゆまぬ議会改革を謳う議会基本条例。今までの議会報告会を改め「議会と語る会」を今年度から実施することとしました。

これまで3年間、議会報告会を年一回、3会場と1団体という形で行ってきました。試行錯誤の中で始めた報

告会でありましたが、実施方法から町の課題

まで多くの意見を頂きましたことに改めて感謝申し上げます。反省点を基に新たに住民の皆様との対話に重点を置いた「議会と語る会」として取り組んでいくこととなりました。人口減少時代の今、これらのまちづくりについて語り合ひましょう。

① 無投票を考える。町長選挙、議会選挙ともに無投票が続いています。

② 政務活動費とは

③ 当町には青年の家、旧東小、梅松苑があります。県の施設の青年の家は来年度で廃止、梅松苑も指定管理が終わります。どうしたら今後のまちづくりに活かせるか？考えましょう。

「議会と語る会」

開催日程

10/23(金) 生田会場
10/26(月) 古町会場
10/29(木) 上大島会場
11/6(金) 役場2階
(女団連)

全て午後7時から



自治体の歓迎する心とは

8月24日・25日に友好姉妹都市の静岡県牧之原市へ研修・交流のために訪れました。当町からは全議員のほか町長・課長を含め総勢19人で、実に5年ぶりの訪問でした。

浜岡原子力発電所では、再稼働に向けて防潮堤の建設や非常時電源確保工事など安全対策の現況を視察しました。敷地内には使用済み核



牧之原市長自らプレゼンテーション

燃料が保管されており、最終処分課題も残る実態を研修しました。続く研修のため牧之原市相良庁舎を訪れたとき、庁舎内の全職員が玄関ホールで私たちを出迎えていただきました。その歓迎ぶりに自治体のもてなし方や来客に与える印象など、自治体の気配りの大切さを学びました。

会議の質を高める

牧之原市の「市政へ

の市民参加」の取り組みは、国から非常に高い評価を受けています。対話に基づく市民協働を推進するために「ファシリテーター」という特殊な進行役を数多く育成し、中身の濃い市民会議ができるような仕組みを作りました。市民会議の中核は「男女協働サロン」と呼ばれファシリテーターを中心にワークショップ方式の協議が功を奏しています。大いに参考となる先進事例を学ぶことができました。

*ファシリテーターとは

会議やミーティングにて、段取り・進行・プログラムを鑑みながら、問題の解決や合意の形成に導く役割をする人。

スムーズな進行と、深い議論、参加者の意見を引き出す手腕が問われる。

議会の うぶぎ

先進地に学べ！

話し合いの質を高めよ

追跡!! あの質問はどうなった?

一般質問で行政側が「検討する」と答弁したものが、その後どうなっているか追跡しました。

質問

子どもたちに確実な学力を保証する取り組みは？

平成21年9月議会
平成22年9月議会

町は子どもたちの教育に対して責任を持つべきだが、今までも質問してきたが、授業がわからないと悩む子どもたちに対する取り組みはどう進んでいるのか。町として退職教員の方々による補習授業などの学習支援はできないのか。

すべての子どもに
確かな学力を

「てらこやシリーズ」展開中!

- 平成25年8月から「てらこや松中」と銘打ち、中学3年生を対象に、5日間英語と数学の補習授業の実施。平成26年度は「てれびてらこや」「どてら松中」、平成27年度は「水曜てらこや」が開催されています。
- 現在20人の元教員、民間社員、役場職員、町議会議員、塾講師などさまざまな職種の方がボランティア講師として授業を担当しています。



この証明の進め方は分かったかな？

(参加した生徒の声)

- 毎回必ず参加している。授業中は自信のなかった連立方程式の計算に自信が持てた。
- 講師の先生が分かるまで丁寧に教えてくれる。英語のテストが20点アップしてうれしい。

(ボランティア講師の声)

- 話をしっかり聞いてくれて張り合いを感じる。役に立つことがうれしい。
- 生徒の顔を思い浮かべながら準備をしている。みんなが分かりできるようになってほしい。



よくできてるぞ！頑張っているね



この単語、どう訳すの？

		25年	26年	27年
てらこや松中(夏)	数学・英語	235人	138人	113人
どてら松中(冬)	数学・英語	173人	78人	今冬
水曜てらこや	数学・英語			330人

(のべ人数)

議 決 結 果

●全会一致で議決されたもの

平成27年第3回臨時会議決結果

件 名	結果	内 容
契約 平成27・28年度社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）松川町中央公民館改築事業建設工事請負契約の締結について	可決	中央公民館建設事業 負契約（5億6,593万5,120円） 神稲・林材木特定建設工事共同企業体
予補算正 平成27年度松川町一般会計補正予算（第2回）について	可決	50万円を追加し、60億449万円に
報告 自動車破損による損害賠償の額について（専決第4号）		町道204号線での車両事故による損害賠償額の報告

平成27年第3回定例会議決結果

件 名	結果	内 容
平成26年度決算認定 一般会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 69億3,639万円 歳出 63億7,649万円
国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 14億5,544万円 歳出 14億 156万円
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 1億3,772万円 歳出 1億3,739万円
介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 12億4,116万円 歳出 12億 27万円
公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 2億9,150万円 歳出 2億7,812万円
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 3億9,021万円 歳出 3億7,853万円
保養宿泊施設事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 5億3,923万円 歳出 5億1,465万円
青年の家特別会計歳入歳出決算認定	認定	歳入 3,844万円 歳出 3,552万円
水道事業会計決算認定	認定	収益的収入 3億 79万円 資本的収入 8,163万円 収益的支出 2億8,505万円 資本的支出 1億9,809万円
平成27年度補正予算 一般会計補正予算（第3回）	可決	4億1,831万円を追加し、64億2,280万円に
国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）	可決	697万円を追加し、16億1,245万円に
後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	可決	28万円を追加し、1億3,946万円に
介護保険事業特別会計補正予算（第2回）	可決	4,312万円を追加し、13億2,964万円に
公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）	可決	319万円を追加し、2億9,538万円に
農業集落排水事業特別会計補正予算（第1回）	可決	465万円を追加し、3億9,005万円に
保養宿泊施設事業特別会計補正予算（第1回）	可決	42万円を減額し、5億2,828万円に
青年の家特別会計補正予算（第1回）	可決	292万円を追加し、3,671万円に
水道事業会計補正予算（第1回）	可決	収益的支出 補正額560万円 計3億1,105万円に
特別職報酬など審議会条例等の一部改正	可決	教育委員会制度改正に伴う条例改正
教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例	可決	教育委員会制度改正に伴う条例改正
教育委員会教育長の勤務時間等に関する条例	可決	教育委員会制度改正に伴う条例改正
教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の廃止条例	可決	教育委員会制度改正に伴う条例改正
手数料条例の一部改正	可決	マイナンバー法制定に伴う条例改正
診療所設置条例の一部改正	可決	生田診療所閉鎖に伴う条例改正
生東へき地診療所設置条例の廃止条例	可決	生東診療所閉鎖に伴う条例廃止
人事 教育委員会の委員の任命	同意	元大島 井口由紀子委員 新任
契約 平成26年度 社会資本整備総合交付金事業 町道大草線橋梁整備工事変更請負契約	可決	町道大草線橋梁整備工事変更契約（5,685万1,200円） シブキヤ建設株式会社
平成27年度 社会資本整備総合交付金事業 町道大草線橋梁整備工事請負契約	可決	町道大草線橋梁整備工事請負契約（7,430万4,000円） 株式会社ヤマウラ
報告 平成26年度 財政健全化判断比率等の報告		実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率基準内
自動車破損による損害賠償の額について（専決第5号）		町道211号線での車両事故による損害賠償額の報告

●多数意見で議決されたもの

平成27年第3回定例会議決結果

○ 賛成 ▼ 反対

件 名	加賀田 亮	菅 一弘	黒澤 哲郎	坂本 勇治	熊谷 宗明	森谷 岩夫	米山 俊孝	島田 弘美	橋本 喜治	間瀬 重男	松井 悦子	米山 由子	白川 靖浩	結果	内 容
条例 個人情報保護条例の一部改正	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	マイナンバー法制定に伴う条例改正
請願 集团的自衛権行使に関する法律、いわゆる安全保障法案の撤回と廃案を求める意見書提出の請願	○	▼	○	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	○	▼	○	採択 否決	請願提出者 松川町憲法9条を守る会 代表 平沢充人 紹介議員 熊谷宗明
意見書 集团的自衛権行使に関わる安全保障関連法案の撤回と廃案を求める意見書	○	▼	○	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	○	▼	○	否決	提出議員 松井悦子 賛同議員 黒澤哲郎 森谷岩夫

主 な 議 会 日 程

7月1日(水) 議会だより編集委員会	7月27日(月) 議会全員協議会	9月1日(火) 議会全員協議会
7月6日(月) 議会運営委員会	7月30日(木、31日(金)) 議会だより視察研修	9月4日(金) 第3回定例会 開会
7月6日(月) 議会全員協議会	山形県川西町、宮城県川崎町	9月8日(火) 総務産業建設常任委員会
7月6日(月) 第3回臨時会		9月10日(木) 社会文教常任委員会
7月10日(金) 議員協議会	8月3日(月) 議会改革推進会議	9月16日(水) 一般質問
7月14日(火、15日(水)) 社会文教常任委員会視察(杉並区ほか)	8月4日(火) 議会運営委員会	9月17日(木) 議会全員協議会
7月16日(木) 社会文教常任委員会	8月20日(木) 議員協議会	9月17日(木) 本会議（再開）
7月17日(金) 産業建設常任委員会	8月24日(月、25日(火)) 牧之原市親善、研修訪問	9月24日(木) 北部ブロック町村議会
7月23日(木) 町村議会議員研修(松本)	8月26日(水) 中部伊那町町村議会協議会	9月25日(金) 正副議長県知事陳情
7月22日(水、23日(木)) 総務産業建設常任委員会視察(筑波、東京)	8月28日(金) 北部ブロック町村議会	9月30日(水) 議会だより編集委員会
7月24日(金) 北部ブロック議員研修会	8月31日(月) 議会運営委員会	9月30日(水) 議会運営委員会
		9月30日(水) 議員協議会
		9月30日(水) 高森町議会との交流会

人 事

教育委員人事案に同意
新任



井口由紀子氏（元大島）

急募

写真パートナー 校正パートナー

住民参加型の議会だよりをめざし、次のパートナーを募集します。

◆写真パートナー

主に保育園・小中学校の行事の様子を撮影し議会だよりへ提供します。「議会広報」の目印（腕章など）を装着し子どもたちの笑顔を撮影します。一眼レフカメラをお持ちでface book運営ができる方。

◆校正パートナー

議会だよりの原稿をチェックし、正しい日

本語の文法や仮名使いなどを校正します。国語の教員経験があるなど、日本語文法に精通した方。



あなたの技術を生かしませんか

ただ 所信を質す！ 一般質問

- 1 加賀田亮議員（15 ページ）
・ 民度成熟のために行政は何をすべきか
- 2 熊谷宗明議員（16 ページ）
・ 大規模災害の備えは万全か
・ 美しい景観を守り、育むための施策を
- 3 森谷岩夫議員（17 ページ）
・ 旧松川東小学校のこと
・ 老人福祉センターのこれからの運用はどうか
- 4 坂本勇治議員（18 ページ）
・ 有害鳥獣被害について
・ まちづくりの基本的な構想は
- 5 島田弘美議員（19 ページ）
・ 遊休農地、耕作放棄地の現状と対応について
・ 農業経営基盤の方向性について
- 6 間瀬重男議員（20 ページ）
・ 青年の家現有建物施設の温存利活用を
・ 低学年からの英語学力充実を
- 7 松井悦子議員（21 ページ）
・ 自然エネルギー活用拡大と、自然環境の保全について
・ 児童館、保育園、学校の暑さ対策について
- 8 菅沼一弘議員（22 ページ）
・ 教育委員会で保護者を対象にしたアンケート調査を行った結果について
- 9 黒澤哲郎議員（23 ページ）
・ 夢や希望のあるまちづくりについて
・ 子育て教育は移住者の大きな関心事だが
・ 生かす採用と業務委託について

一般質問は、議員にとって、住民から重大な関心と期待を持たれる大事な議員活動です。町政全般にわたって執行機関に疑問点を質し、所信の表明を求め、議員自らの政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

質問の持ち時間はひとり20分ですがスペースの都合上、質問者の責任において質問と答弁を要約して掲載していますので、臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしております。

お寄せください

私も言いたい 聞きたい

議会に対するご意見や要望・疑問など、どんな視点でも結構です。「言いたい」「聞きたい」ことを100〜200文字程度で投稿ください。当編集委員会で厳選の上、お名前・年齢・お住まいの地区・顔写真とともに、議会だよりに掲載する予定です。

礼 モニター アドバイス

今回もモニターの皆さまから多くのご批評を頂きました。誠にありがとうございました。

ご意見を受けて次の点を改善します。

◆写真パートナー・校正パートナーの募集や、投稿コーナーなど、住民参加の機会を増やします。

◆一般質問への関心を高めてもらえるよう、図版を2段抜きで大きく掲載し、全体を6段組み構成に変更します。

各募集の申込みや投稿、詳細条件などのお問い合わせは議会事務局（361-7020）（gikai@natsuka-wa-town.jp）まで。

問

民度の向上には危機感が必要では

答

自己肯定から民度を育てれば良い



加賀田亮 議員

(問) 当町財政は依存財源に大きく頼っている。各種交付金や補助金の財源は住民が県民・国民として支払った税金であるとともに、国債など将来世代からの前借りも大きな比重を占めている。自治体が交付金・補助金を利用する際には、大きな債務を負担する次世代に対しての説明責任・合意形成が必要では。

(問) 住民合意のあり方が課題となる。青年の家庭と利用の件では町長から具体的な提案が寄せられた。将来を見据えた合意形成は、大衆迎合のポピュリズム・衆愚政治に陥ることなく、同時に独善も避けなければならない。首長のリーダーシップをどうコントロールしているのか。

(町長) 情報の共有・現場主義・コミュニケーションが肝要である。

(問) コミュニケーションの質が問題では。責任の伴わない放言や、問題意識の低い協議が散見される。協議の質を上げるには高い民度が必要だが、個人の努力だけで民度向上は困難であり、行政が意識して環境を整える必要があるのでは。

(町長) 住民が一人ひとり民度の必要性を自覚するように説得しながら促しているが歩みは遅い。

ち、民度が向上している。また、その担い手として次世代・新世代にスムーズに権限を委譲し、彼らを積極的に認め、育てる環境を整えている。いずれも当町が積極的に見習うべき手法と考えるが。

(問) 全国成功事例を見るに、積極的な情報開示を行い住民にある種の危機感が芽生え、それを克服すべく協働精神が育

(町長) 危機感を不必要に煽ることはない。わが町には素晴らしい財産があるという自己肯定から協働を推進するほうが良いと考える。

コミュニケーションの質を指標化してとらえる

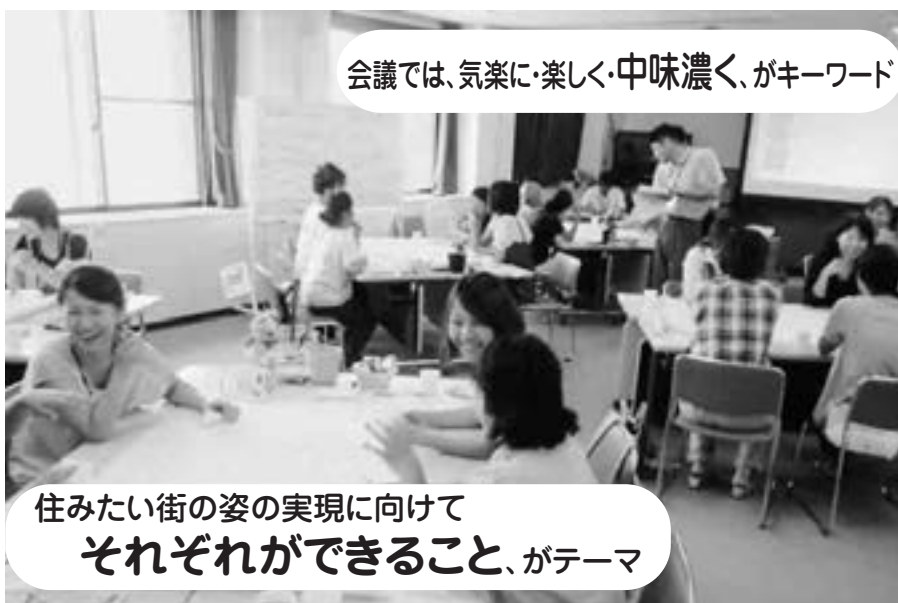
出典：(自治体ポータル)自治体職員のための組織風土改革「実践」講座より

レベル1	知っている	お互いの存在を知り、あいさつを交わす
レベル2	話をする	日常的な会話や情報交換をする
レベル3	理解する	相手の思いや考え、課題や悩みを理解している
レベル4	相談する	立場・肩書を越えて困っていることを相談し合う
レベル5	協力する	損得を越え、将来に向けて一緒に解決行動をとる
レベル6	新しい価値を創造する	未知の課題に対して知恵を出し合い、新しいやり方や価値を生み出す

町の唱える「コミュニケーション」はどのレベルだろうか

(要望) 危機感とは「何をやってダメだ」という虚脱感ではない。危機感とはひつ迫した現状を正確かつ客観的に把握し、解決しようとする動機付けを強固にするステップである。危機感の欠如は、現状を正しく理解せず否

定や黙殺を招く。住民の民度を上げ協働に結び付けるには「問題解決の動機付けとしての危機感」が必須であり、情報公開やファシリテーターの育成など、行政は環境・体制構築の責務を果たすべきだと考える。



会議では、気楽に・楽しく・中味濃く、がキーワード

住みたい街の姿の実現に向けて
それぞれができること、がテーマ

原発事故の危機感から始まった牧之原市の市民会議は濃密で層が厚い

※ファシリテーター…11ページ末尾の用語解説を参照

問 大規模災害の備えは万全か

答 人命第一、瞬時の判断躊躇せず

(問) 今から300年前「未(ひつじ)の満水」と呼ばれる土砂災害が伊那谷を襲い、甚大な被害をもたらした。

また、東海地震発生の切迫性も指摘されており、減災に向けて実行力のある訓練が必要となっている。災害時、行政のトップとしてなすべきことは何か。

(町長) 舟頭が多くて舟が前へ進まない状況がある。人命が第一と考え、瞬時の判断をしていく。

(問) いちばん心配になるのが自治会未加入者の皆さんの安否確認であ

る。日頃お付き合いのない皆さんの情報収集をどう行うのか。

(総務課長) 自主防災会リーダー研修会を通じて自治会未加入者、高齢者ひとり暮らしの方、要介護者の安否確認や救出の共助をお願いしている。

災害時には、名簿確認の情報提供をしながら自主防災会と本部で手をたずさえていく。

(要望) 白馬村の地震時における死者ゼロは、地域住民の助け合いがもたらした「白馬村の奇跡」と言われている。誰もが孤



熊谷宗明 議員



真剣な眼差しの防災本部訓練

立して暮らすことより、ゆるやかな連帯を望んでいる。「近助」を高める地域防災の第一歩は、言葉を交わすこと、そんな啓蒙活動を進めてほしい。

(問) 友好姉妹町の牧之原市議会では浜岡原発の永久停止を議決している。その原子力マニユアルによると、甲状腺の被曝を抑える安定ヨウ素剤服用の防護措置がとられている。100km少しに位置する当町でも安定ヨ

ウ素剤の備蓄が必要ではないのか。

(総務課長) 飯田市では6万錠の備蓄をしている。備蓄品として何が一番必要か、優先順位を考えて検討していきたい。

問 美しい景観を守り育むためには

答 「信州ふるさとに見える丘」を募集

(問) かけがえのない自然を守り育むためには、自発的な景観育成の活動が重要である。今年度アルプスビューファームズ部奈が、県事業の「信州ふるさとに見える丘」に認定された。この事業の拡大をしてはどうか。

(町長) 地域の皆さんが残すべき景観を守っていくという意味でのきっかけになる。町政60周年に向けて、残していきたい原風景を広く募集していきたいと思う。



部奈の展望公園から望むふさと

問 旧松川東小をどうするのか

答 地域住民の合意形成を図っていく

(問) 4月から中央小に通う子どもたちの様子はどうか。保護者との連絡は密にできているか。また、旧東小の跡地利用は6月議会で所信表明されたが、福祉と教育と芳重さんの記念館ということか。

(町長) この10年で廃校になった学校が全国では5800校余ある。申し上げたのは複合的施設ということ。福祉関係、生涯学習も含めての教育関係、宮澤芳重さんを伝えるもの、それと大学のサテライト、もう1つが産業。今、庁内で委員会

を作ったの具体的な話はしていない。これからの検討も含めて地域住民の合意形成が大事だ。

(要望) 地元住民が楽しく過ごせる場所としての機能を持たせてほしい。生東地区の活性化のための予算も大切だ。



森谷岩夫 議員

(教育長) 旧東小から5人、新たに新入生が2人通学している。登下校は専用の車で対応している。保護者との懇談でも特に問題はなかったと思う。旧東小に在職された先生方が3人おられ、細かく対応してくれてありがたい。



校舎の将来を案ずる芳重地蔵

(問) 老人福祉センターはコミカフェなどで以前よりたくさんの方が利用している。耐震診断もしていないが構造的に大丈夫か。何かあったら困ることになる。また箱モノを利用ができる複合的な施設が大切だと思う。そのなかで妊婦の方や未満児の検診なども役場の2階の畳の部屋でやっているが子育て支援のための施設も必要ではないか。

(町長) この問題については何度も提案もいただいているが、松川荘や旧北名子保育園などと合わせて考えていきたい。耐震診断も290万円ほどかかると思うが、受けていくことも考えなければならぬ。また子どもたちの検診などについて

問 老人福祉センターは大丈夫か

答 耐震診断は考えていくつもりだ

では、エレベーターも付けたし、不便という声はあまり聞いていない。

(保険福祉課長) 老人福祉センターは老朽化もあって、あり方について

も検討はしているが利用者からは環境もいいし今の場所だという声も多い。障がい者と高齢者の共生型の施設としての利点もある。



コミカフェの活動は楽しいなあ

問 有害鳥獣対策は進んでいるか

答 侵入防止柵が本年度で完了する

(問) 柵設置後の状況と課題は。

(町長) 各地域からの要望を受け、対策協議会を立ち上げ、行政でできることに取り組んできた。柵については総延長51.5 km、本年度7.0 km施工する。

(産業観光課長) 柵については、地域によって金網柵と電気柵の2種類を設置している。先行設置してきた地域では、一定の効果が出ている。

(問) 日常的な柵の管理と、町が負担する修繕などの考え方は。

(産業観光課長) 町が設



坂本勇治 議員



施設はできたが日常管理は

置し、管理は地元で取り決めるして始めた事業だ。除草や、電圧の管理など日常管理は地元でお願いしている。台風など災害については状況によ

り対応していく。

(問) 柵の内側の害獣についての対応は。

(産業観光課長) 総合的な対策が必要と考え、大型檻を設置しての捕獲

や、くくり罠への補助金など、個体の減数に取り組んでいる。また、GPSによる生息調査を行い

対策に生かしていく。

(問) 猟銃等有資格者の確保は。

(産業観光課長) 資格更

新時の助成もしているが、対策協議会と相談していく。

問 青年の家のあと利用は

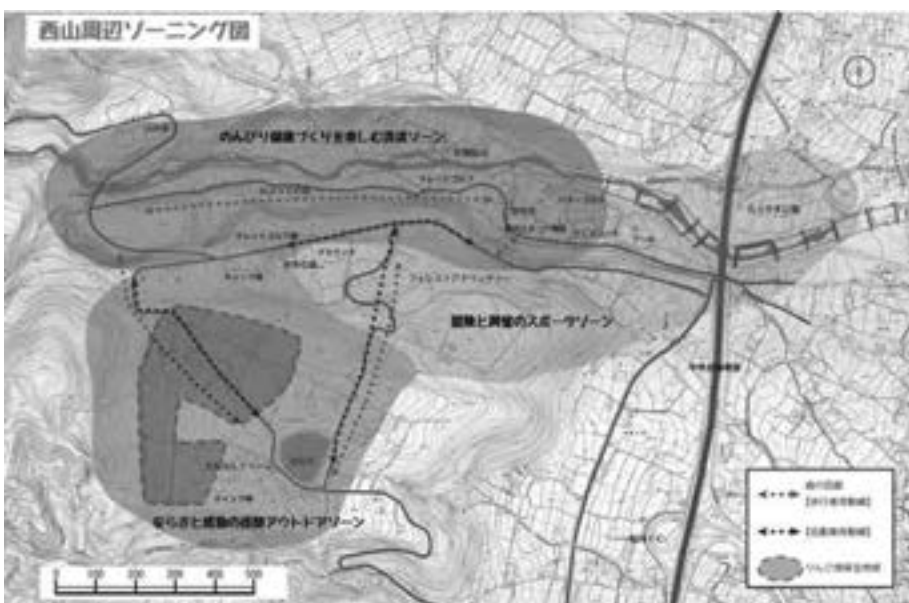
答 スポーツ施設で検討を開始

(問) 清流苑を中心とした西山一帯のゾーニングが示された。青年の家の建物は非常に強固な躯体を有している。リフォームにより交流人口増につながる施設だと思つが、構想と進め方は。

(まちづくり政策課長) 生涯学習課、産業観光課、まちづくり政策課で、アウトドアスポーツ施設での活用を検討し始めているが、住民との合意形成を得るために検討委員会の立ち上げを考えている。

(問) 交流人口増の明確な目的と、目標は。

(町長) 人が動き、物が動く、経済が動き、情報が動くと考えている。



「都会のピンチは田舎のチャンス」と考え交流人口増に



島田弘美 議員

(町長) 最新調査では遊休農地面積は213 haでありここ数年増加傾向にない。また農地形態を呈していないものについては、農業委員会などと精査するなかで、ある程度里山に戻すことも考えていく。また後継者不

(問) 高齢化や担い手不足により遊休農地や耕作放棄地が見受けられるが、これらを放置しておく雑草、雑木が繁殖し病虫害など周辺集落や所有者の悩みのひとつと危惧する。今後防止策が問われると思うが対応はどうか。

問 遊休農地、耕作放棄地の対応は
答 状況で里山に戻すことも



基本的な解決が求められる遊休農地

足、高齢化が進むなかで耕作放棄地を増加させない策として、当事者との相談が大事だ。町では農地幹旋専門員を1人増員し対応している。

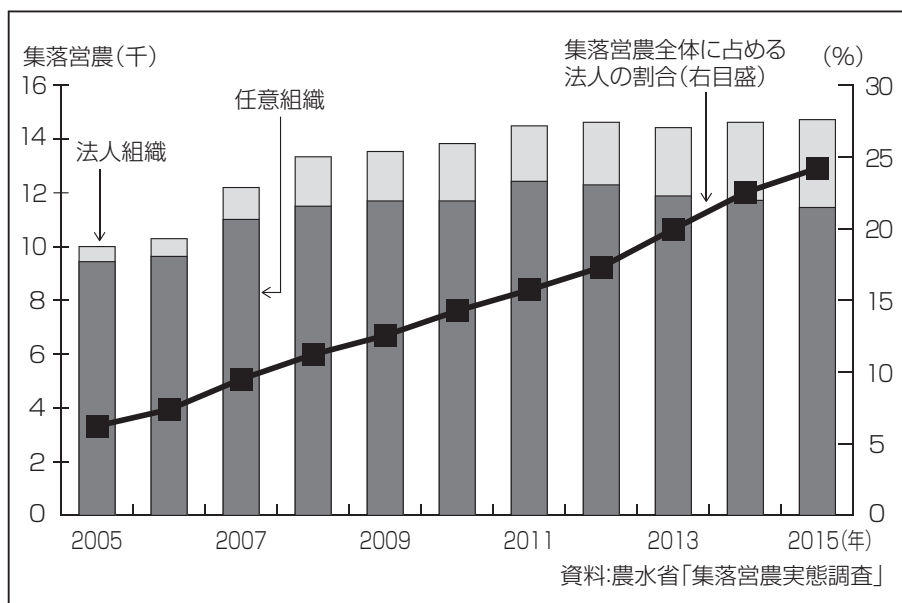
(産業観光課長) 農地幹旋などや耕作放棄地解消補助金を活用し進めた。また農業委員会と情報交換を密にして実情把握し対応を考えていく。

問 農業法人化推進が必要と考えるが
答 第一歩が踏み出せていない

(問) 農業白書によれば農業就業者の減少、高齢者に警鐘をならし農業の構造改革の必要性を強調している。農業経営は家族単位での耕作が多く耕作面積は限界が生じているなか、経営規模拡大の障害のひとつと感じる。町とJAが主導し農業法人の推進が必要であると考えてるが。

(町長) 事業主体、運営、規模、運営資金などさまざまな問題もあり、第一歩が踏み出せないでいるというのが現状、法人化については引き続き研究を続けていく。

(産業観光課長) 町、JAの指導によって農業法人を推進する方向性は必要であると認識している。ひとつの方向として農業法人の方々と意見交換会



全国では集落営農の法人化が着実に進展

を立ち上げた。また法人的な経営を目指している方々とも法人企業を学ぶ場を2回開催したところ

問 青年の家の現有建物の温存を

答 提案含め住民の意見を聞いていく

(問) 6月定例会でラグビーやサッカ―のできる公式グラウンドの整備を進めたいとの考えを示された。研修棟や宿泊棟の一部がグラウンドスペースにかかるプランを提案されたが、建築関係者として施設の現況や沿革の資料を拝見するなかで、体育館、研修管理棟、宿泊棟の躯体すべて堅固な鉄筋コンクリート造であり、大変素晴らしい建物である。築37年、壁などにもひび割れや雨漏りひとつ見当たらない。手入れも良く行き届いており研修棟、宿泊棟の屋根まわり

の補強、改修など行えば今後も長期の利活用が可能である。リニア新時代を前に、交流人口増施策において清流苑の他に宿泊施設の少ない当町に

とって、1000人の宿泊可能な施設があることは大変大きな力となる。利用者は年間約2万人、地元はもとより県内外の研修やスポーツ合宿が継続

300ミリの堅固な躯体の壁厚



間瀬重男 議員



300ミリの堅固な躯体の壁厚

問 低学年からの英語学力の充実を

答 早期教育にはもろ手をあげられない

されており、広域的生涯学習の場として現有建物の整備温存で利活用を。(町長) 提案も含めた考えのなかで地域住民の意見

見を聞いていきたい。(問) 利用者が広域にわたるなかで広域連合での青年の家の議論は。(町長) 広域の議題とし

ては難しいが、雑談のなかでいろいろなアイデアをもらうことはできると思う。

(問) 国際情報化社会において英語は必須科目であり、もの覚えの良い小さい頃からの語学教育が大切だと考える。岐阜市では今年4月より小学1年生から英語を正式教科に市立47校で導入した。当町の現況は。

からの基礎英語教育の充実を図るべきと考えるが。(教育長) 早め早めの大

人の論理による早期教育には、もろ手をあげられない。

(教育長) 5・6年生が週1時間、年35時間外国語活動をしているのを、2022年より文科省の指導要領で3・4年生に教科としていくことになる。

(問) リニア新時代小さな世界都市として注目される南信州において、日常会話や国際交流に向けた語学力アップ、低学年



幼少期からの早期教育で語学力アップを



松井悦子 議員

(問) 国の法整備が整っていないなか電気事業法や工場立地法の規制が緩和され、急速に展開されてきた大規模な太陽光発電事業だが、地域住民の生活や自然環境保持の面から問題だという声が、住民から出るようになった。むき出しの太陽光パネルが、町内のあちこちで目立ち、「緑豊かな果物の町、まつかわ」のイメージダウンになると考える。上段が下段地域へ災害面での影響を与える可能性もあり、自治会単位の周知だけでは不完全で町全体の統一性が必要ではな

問

自然エネルギーと環境保全の両立は

答 困難だが研究検討したい



植栽などで環境に配慮がほしい

いか。
自然エネルギーの利活用は必要だと考えるが、景

観面や町民の生活への影響を無視する事業展開はまずいと考える。

(問) 近年の夏の暑さは異常だ。保育園や児童館、学校などの暑さ対策が急務だと思うが、どう考えているか。
(こども課長) 保育園などは夏休みなど時間外保育をしており、小さい子どもさんを預かるなかで、暑さ対策には力を入れていかなければならないと考えている。

答 対策に力を入れていく

問 保育園・児童館・学校の暑さ対策は

現状の法律や県、町の条例だけでは、景観や町民生活への影響に考慮した整備を太陽光発電所の事業者に求められない。新たな条例により、発電事業者に対して施設の緑化や植栽などをお願いを

することにより、周辺環境への配慮がされるものが共存の道だと考えるがどうか。
(まちづくり政策課長) 個人の経済活動の中で難しい面がある。担当課や農業委員会でも話題にな

る問題かと思うので、しっかり協議をしていきたい。
(町長) この場でどう進めるとは申し上げられない。しっかりと精査を担当課とも研究検討していきたい。



あついあつい！保育園の暑さ対策を早急に

問 学校教育に関するアンケート結果は

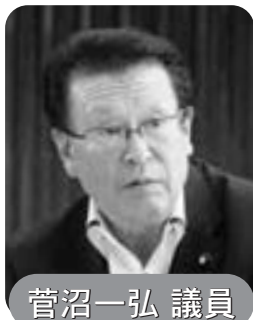
答 安心への教育・学校に対する期待は高い

〔問〕教育委員会で実施した、児童・生徒の保護者アンケートの狙いと結果は。

〔教育長〕アンケート（複数回答）は小中学校の児童や生徒がいる全世帯740戸を対象に実施。599戸から回答があった。回収率80・9％。学校教育に関する意見をいただき、教育活動や教育委員会の施策に生かす。

〔問〕保護者の回答にどのような傾向や特徴があったか。

〔教育長〕「子どもがどのように育ってほしいと思



菅沼一弘 議員

うか」の問いに対し、最も多かったのが「思いやり」が72％、「自ら問題を解決する力がある」が41％、「基礎学力をつける」が36％、「健康で体力がある」が35％と続いた。

「小中学校にどのようなことを望むか」では、77％が「思いやりの育成、いじめのない学級・学校づくり」を希望、「基礎となる学力の定着」が72％で次いだ。「教職員の児童生徒との対話と子どもの理解」は55％、「夢や希望を育む進路指導やキャリア教育」が42％だった。

子どもの教育について関心のある項目を聞いたところ、「学力の状態」が79％で最多。次いで「基本的な生活習慣」が

57％、「いじめや不登校の問題」が54％、「道徳心や規範意識」が54％、「健康の保持・体力の向上」が44％の順である。

家庭での教育で困っていることについては、50％が「子どもの学力や学習状況」、36％が「携帯やスマートフォン、インターネットの使い方」に不安を感じる」と回答。町が進める教育施策についての重要度を聞き、このうち「不適応・不登校



来年は楽しい1年生



毎日楽しく登校

などの悩みを抱える児童生徒の支援」は74％が最多だった。

自由に記述する項目も設け、さまざまな意見や要望が寄せられた。

全体として安心できる教育環境やキャリア教育に対する期待感が高い一

方、不登校への対応など課題も見つかった。いただいた意見を大事に受け止め、応えられるよう努力する。

〔要望〕校舎のトイレの改修・てらこや松中の継続などいろいろな意見に耳を傾けてほしい。



黒澤哲郎 議員

(町長) 町長就任時から地域の宝、知財の再発見を発信してきた。宝は物、自然だけではなく人

(町長) 町長就任時から地域の宝、知財の再発見を発信してきた。宝は物、自然だけではなく人

問 ふるさとの宝を生かすには

答 提案型まちづくり事業を軸に

(問) 地方創生が謳われるなか、今総合戦略が練られている。町の宝の再発見に取り組んできたが、ふるさとの宝を生かした町づくりが差別化となり、夢や希望に繋がると考えるが。当町は2つのアルプスに囲まれた伊那谷にあり登山口でもある素晴らしいロケーション。100年の歴史を持つくだものの里まつかわ。どのようにまちづくりに生かすのか。

も宝だと考え提案型町づくり事業などに力を入れてきた。

(問) くだものの里として果樹農家の皆さんも頑張っておられる。1年色々な果物が味わえるまちづくりの取り組みは。

(町長) 現在はリンゴだけでなく春から秋まで多くの果物をPRしている。



町の宝を生かして

(問) まちづくりには住民との対話が必要不可欠だ。その環境を提供しテーブルについて多くの人の意見を聞くにはスキルとしてのファシリテーションが職員に求められるが。

(町長) 地域づくりのリーダーを育成していきたい。総合計画策定の地域づくり会議では活発な意見をいただいている。ひとつのヒントになるのではと思っている。

(総務課長) 研修に年2

問 ゲームをやめて学力アップを

答 取り組みねばならぬ課題だ

り会議では活発な意見をいただいている。ひとつのヒントになるのではと思っている。

人ほど参加している。実践の場で高めていきたい。(要望)※ファシリテーター(職員)に求められるものは達成イメージへの情



ゲームが学力を低下させている

(問) 教育は住民のみならず移住者にとっても大きな関心事だ。町の取り組みは。

(教育長) てらこや松中も2年生までと対象を拡大し通年化している。保育園の保育課程の編成で教育に関するものを位置づけるよう依頼している。また独自に小中で学力検査を実施し結果を見ながら対応している。

(問) ゲーム、スマートフォンは学習の記憶を消去する害があると指摘されている。依存症もあると言われるが現状と対応は。(教育長) 小中学生の生活に大きな影を落として

なんて贅沢な風景だろう

部奈 田中 斉・知美夫妻

こんにちは、部奈に住む田中斉です。私は、愛知県生まれで、愛知県育ちですが、父親が飯田市龍江、母親が泰阜村出身ということで、子供のころから南信州には良く連れてこられてきました。

自然の中で屋根がない空の下で仕事がしたいと思い、20年近く働



いた会社を退職し、農業の道へと進むことを決意しました。自然の豊かな場所が大好きで、両親の故郷でもある南信州で農業をすることを決め、いろいろな経緯を経て、松川町にたどりつきました。知り合いに紹介された部奈を初めて訪れた時、あまりにも綺麗な山の風景に鳥肌がたったことを覚えています。

松川に移住してきたのは3年前、部奈には1年半前から住み始めました。自治会に入れて頂き、部奈の人達にも良くして頂いて、毎日楽しく暮らしております。

りんごを中心とした仕事をしながら、部奈からの風景を眺めては、「なんて贅沢な風景だろう」って思い、心癒される毎日です。そんな風景ばかりみているせいか、愛知県にいた時は視力が両眼で0.5くらいで、車の運転はメガネが必要だったのが、今では1.0、1.5に回復してしまいました。運

転免許証から「眼鏡」という文字が消えました。

そんな、体にも心にも良い松川町で、私と妻、そして行き場をなくし保護されていたバニーズマウンテンドックという犬種の愛犬「帝（みかど）」と、地域に溶け込み暮らしています。

これからも、知り合いにも「自然豊かで良いところだよ」って自慢でき、将来、家族全員が故郷は松川町って胸張って言えるように、りんごを作りながら心も豊かに暮らしていけたら良いなと思っています。



あとがき

いよいよ収穫の秋を迎え、町内も週末ともなると活気を感じる季節となりました。その中でまさかの8月の降雹被害。被災現場の状況を視察させていただきましたが、果実の成長につれ顕在化してきた大きな被害。自然災害とはいっても何とかならないものか心が痛みます。議会報編集も、より多くの皆さんに読んでいただける紙面作りを目指し挑戦中です。

(米山 俊孝)

連絡先 議会事務局

36-7020

編集委員

委員長

副委員長

委員

同 同 同 同

加賀田 亮

森谷 岩夫

松井 悦子

米山 俊孝

熊谷 宗明

黒澤 哲郎

菅沼 一弘